

中間評価のとりまとめ（平成22年度当初～平成24年度末）

整備計画名称	京都市における少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」	
成果目標	①市域一人当たりの公園面積を4.69㎡/人(H22当初)から4.73㎡/人(H24末)へ増加 ②上鳥羽公園の公園来場者数を2.1万人/年(H22当初推定)から2.4万人/年(H24末)	
中間実績	①4.69㎡/人(H22当初) → 4.74㎡/人(H24末) ②2.1万人/年(H22当初推定) → 2.4万人/年(H24末)	
事業効果の発現状況 (中間年度)	緑のネットワーク化及び少子・高齢化に対応した公園整備を図りながら、中間目標を達成することができた。 引き続き、京都市内全域において、緑のネットワーク化及び少子・高齢化に対応した公園整備を推進していく。	
整備事例	千石荘公園	相深公園
		